

ボランティア センター だより

夜須中学校での福祉学習で活躍する 福祉教育サポーター

高齢体験を
やってみよう♪



1人でイスに
座ってみよう!



ど〜んとかがし祭の花火のごみ拾いや 運営サポートをするボランティア部

祭りのアンケートに
ご協力お願いします!



野菜収穫班で
受付をしています!



筑前町の
特産物です~♪



今年の
わらかがしは、
「やまいぬ」です。
迫力満点!!



前夜祭の
花火のごみを
拾ってます!



ボランティア活動は、

“人”や“地域”とつながり、たくさんの笑顔に出会える♪

特集

新たなボランティアや地域活動につながる講座を実施しました♪

ボランティアセンターでは、ボランティア入門をはじめ、福祉教育、災害支援、動物福祉など、地域のみなさんが興味や関心を持ち、ボランティア活動の一步につながるような講座やワークショップを実施してきました。

今回は、今年度を実施した講座の内容や受講者の声を紹介します。

講座を受講したことをきっかけに、新たなボランティア活動へ参加する姿も多く見られました。

7月実施「ボランティア入門&体験講座」

ボランティア活動に関心のある人を対象に、ボランティア活動の基本的な考え方や心構え、町内で行われている活動を紹介しました。受講後は、センターに登録し、実際の活動にもつながりました。

受講後の声

人と話すことが苦手で克服したいと考えた時にボランティアで地域の人と関わることで人との付き合いができるのではと思ってボランティアに興味を持ち参加しました。

高齢者施設秋祭り手伝い参加後の声

相手に伝わる声の大きさと話す大切さに気づきました。活動中の「ありがとう」の言葉はうれしかったです。活動を通じて、地域や福祉のことをもっと学びたいと思いました！

受講後の声

- ・子どもたちが福祉について学んでくれていることにありがたいな～と思います。未来に希望が持てますね。福祉教育サポーターのことがよくわかりました。ありがとうございました。
- ・自分の生活、仕事等にとっても役に立つ講座でした。「福祉教育」としての視点はもちろんですが、人として大切なことをたくさん学ぶことができました。



小・中学生を中心に社会福祉協議会が取り組んでいる「福祉教育」への理解や、町内の取り組みを紹介し、地域のみなさんと一緒に福祉教育を進めていくサポーターの養成を行いました。

8月実施「福祉教育サポーター養成講座」

受講後の声

- ・動物ボランティアの認識はしていましたが、詳細がわからなかったため知れてよかった。
- ・動物の今の状況が知れて、動物を大切にする気持ちができた。この講座をきっかけに動物を少し好きになりました。
- ・福祉と愛護、5つの自由について知ることができた。
- ・以前から興味があった活動のため参加出来てよかった。
- ・動物の「幸せ」を考えることがとても重要と再確認した。
- ・受講者の年齢層も多岐にわたっており、非常に楽しく動物福祉を学ぶことができました。



福岡県動物愛護推進員を講師に迎えて、「動物福祉とは何か」について学びました。犬や猫などの動物の気持ちやトラブルに関することを、クイズ形式でグループごとに話し合いました。さまざまな人の考えを聞いたり、自分の思いを伝えたりすることで、新たな気づきや学びが多くありました。また、動物に関するボランティア活動についても知り、自分たちにできることを考える機会となりました。

8月実施「動物福祉ボランティア講座(Part1)」

9月実施「家族de作るつながる」工作ワークショップ

子育て世代を対象に、人や地域とつながるきっかけづくりとして、子ども向け工作教室を主宰する講師の方を迎えて工作ワークショップを実施しました。

参加した家族は、「石粉粘土で好きな動物を作ろう」というテーマに沿って、真剣かつ楽しそうに笑顔で取り組んでいました。家族だけではなく、人や地域のつながりを楽しむ時間になっていました。

受講後の声

- ・子どもが熱心にとりこんでいてよかった。
- ・昨年参加して楽しかったから、今回も参加した。絵を描いたり、工作などに家族で参加したいです。
- ・ねんどを伸ばすところが楽しかった。
- ・粘土でたくさん動物などを作れて良かった。



9月実施「災害ボランティア講座」

身近に起きる災害への備えや、災害ボランティアの役割・心構えについて学ぶ講座を実施しました。講師には、平成29年九州北部豪雨災害をきっかけに被災者支援団体「一般社団法人Camp」を設立した二人をお迎えしました。

講座では、被災した際に「助けて」と声を上げる「受援力」の大切さや、日ごろから地域や人とながておくことの重要性などについて、グループワークを交えながら、参加者とともに考え、意見を伝え合いました。

受講後の声

- ・誰もが災害にあう可能性があり、災害が起こった時の災害ボランティアの活動や復旧するための必要な支援力と受援力の大切さを学ぶことができました。
- ・災害時の自助、共助、公助についてのイメージがつかえました。
- ・ボランティアセンターや避難所での役割、グループワーク等で活発な意見交換ができた。また中学生が積極的にワークに参加してくれてよかった。



10月実施「動物福祉ボランティア講座(Part2)」

福岡県動物愛護推進員であり、大刀洗町を中心に活動する「地域猫サポート大刀洗」つなぐ」の方を講師に迎え、地域課題である野良猫問題について理解を深める講座を実施しました。

講座では、猫の特性や不妊・去勢手術の重要性について学びました。また、クイズ形式の課題に対して多世代のグループで取り組み、お互いの考えや思いを伝え合いながら、解決に向けて一歩踏み出す講座となりました。

受講後の声

- ・野良猫や保護猫に関する意識や関心が更に高まりました。
- ・野良猫のことでモヤモヤしていましたがいろいろ聞いてよかったです。
- ・知ることが大切で、猫を見たときに周りの方に、啓発していくことが一番広がる方法かな～と思いました。
- ・自分の知らないところも知れたし、動物を増やさないと愛ということも知れたので良かったです。



ただ今、「筑前町ボランティア部」活動中

筑前町ボランティア部は、7月中旬から令和7年度の活動がスタートし、これまで、さまざまなボランティア活動や定例活動（学び）を行いましたので紹介します。

学び 9月27日(土)筑前町ボランティア部(=ボラ部)第2回定例活動

筑前町ボランティア部では、地域でのボランティア活動に加え、部員それぞれの興味・関心に応じた学びの場づくりにも取り組んでいます。

今回は、動物福祉ボランティア団体「福岡朝倉コウノトリの会」を講師に迎え、コウノトリの生態や地域との共存について学びました。動物福祉に関心のある部員も多く、疑問点を積極的に質問したり、意見を活発に共有したりする姿が見られ、熱心に学ぶ様子がとても印象的でした。



活動 10月12日(日)『猫の譲渡会』運営サポートボランティア活動

町内でボランティア団体主催の「猫の譲渡会」が開催され、ボラ部からは延べ6人が参加しました。会場の設営から受付、片付けまでを担当し、当日は多くの来場者でにぎわいました。新たに猫を家族として迎え入れることを検討する人もいて、温かな雰囲気の中で活動をしていました。部員からは、「たくさんの猫たちに癒されました♪」、「新しい家族に出会い、幸せに暮らしてほしいです！」などの声もあり、猫とのふれ合いや来場者との交流を通して、さまざまな思いと出会いが生まれた様子でした。



活動 10月26日(日)『夜須高原感謝祭 ウォークイベント』運営手伝いボランティア活動

当日は、イベント受付業務や物販のサポートを担当しました。ウォーキングコースが複数あったため、どのように説明すれば参加者に分かりやすく伝わるかを考えながら、笑顔で対応する部員の姿がとても印象的でした。

部員からは、「楽しかったです」「またいろいろなイベントで活動してみたい」などの感想があり、充実した活動となりました。



筑前町ボランティアセンター

〒838-0215

福岡県朝倉郡筑前町篠隈373

コスモスプラザ福祉館(筑前町社会福祉協議会内)

TEL:0946-42-4555

FAX:0946-42-5941

ホームページアドレス <https://chikuzen-shakyo.or.jp>

メールアドレス chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp

発行編集/社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

